

技師会だより

発行番号 2023-No. 2-1
発行 令和6年1月8日
発行責任者 佐藤 克巳
編集責任者 須藤 英樹

学会特別号Vol.1

道学会無事に終了!

去る11月25～26日、とかちプラザにおきまして第95回北海道医学検査学会が開催されました。12年ぶりとなる帯広開催、新型コロナウイルスが5類移行となり、行動制限が解除となって初の学会ということで、企画委員一同かなり大変な思いをしながらの準備となりましたが、ご協力を頂いた皆様のおかげで何とか無事に終わることが出来ました。会場設定の都合により、11月末という異例な時期での開催となってしまいましたが、最終的には343名という大変多くの方々にご参加を頂くことが出来、企画委員一同ホッと胸をなで下ろしています。ご来場を頂いた皆様には心より感謝を申し上げます。



第95回北海道医学検査学会を支えてくれた実務委員の皆さん!



招待講演① 中岡 千香子 先生
「今から続く未来のための
心のあり方のお話」



招待講演② 清水 宏保 先生
「今、出来ること 今、すべきこと」
～その時のために～

佐藤かいちの学会うら話

第95回北海道医学検査学会 学会長 佐藤克巳

令和5年11月25、26日にわたり、とかちプラザ（帯広市）において第95回北海道医学検査学会を開催致しました。会員皆様のご協力により、無事盛況にて終了出来ました事、感謝申し上げます。

・・・などの固い文章は北臨技News読んでくださいね！

佐藤の学会の裏側（回顧録）

・学会準備の始まり

私の学会準備の始まりは2022年1月でした。当時の私は持病にて長期に渡りプレドニン10mg内服&コロナ禍のマスク生活で呼吸筋が弱り、声を張り上げるとすぐに咳き込む状態でした。VC 2900ml、%VC 77% と書けばイメージ出来るでしょうか？

「大きな声を出せなければ話にならない！取合えず呼吸筋を鍛えよう！」

これが学会準備の始まりでした。呼吸筋を鍛えるために30年ぶりにプール通い。20代の頃1000m程度は1本で泳いでいた私が25m泳いだけで肩で息をする有様。それが学会直前にはVC 3800ml、%VC 101%まで復活！ がんばりました！ 本番、声 出てましたよね？



・松山千春メッセージ

事の始まりは、7月の健康まつり実行委員会で帯広に出た時の何気ない会話から・・・

佐藤「学会で松山千春からのビデオメッセージなんてどう思う？」

守谷「えっ！そんな事できるんですか??? もし出来たらスゴイです！」

実は、現職足寄町長と松山千春は中・高同級生なのです。町長選挙の応援演説に依頼せずとも自ら「いつ行けば良い？」とTelが入る関係なので、町長に依頼すれば何とかなると安易に考えていました。

町長にアポとして訪問。経緯を話し依頼するも

町長「千春ねー、あいつ難しいんだよね・・・オレが頼んで動くような奴じゃないんだわ・・・今までも何度もいろいろ頼んだことあるけど ダメなケースが殆どなんだわ。自分の感性に合わない、どんなコネ使って頼んでもテコでも動かないんだわ。だけど感性に合うとビックリするくらいフットワーク軽いんだよね・・・ここは正攻法で行きましょう！千春宛に手紙書きなさい！ただ、あいつは堅苦しいのは嫌うから、へりくだって、うやうやしい文章はダメだよ。返信が無いからと何度も頼むのもダメ、そういうの嫌うんだわ。あと長々した文章もダメ。あいつは地元愛がすごく強いから その辺りを織り交ぜて書くといいよ。千春の感性に一発で届く内容を手紙に書きなさい」と、アドバイスをいただきました・・・

すごい難題 (´_`A

で 2パターンの文章を書きました

①オーソドックスに畏まった文章

②メチャ フレンドリーな文章

それをミックスして、煮詰めて、1カ月かけて、依頼の手紙が完成し投函しました。

私の人生に於いて、ここまで真剣に文章書いたこと無かったような・・・

千春マネージャーからガガファイル便にて3週間後メッセージ動画が届きました。

9/15（金）の夜にメール送信。データーのダウンロード期限は3日間。この意味理解出来るでしょうか？

つまり9/18（月）「勤労感謝の日」が期限だったのです。たまたま18日に急患にてオンコールが入り、たまたまPCを立ち上げたのがダウンロード期限3時間前。危なかった。曜日の関係の無い世界で働いている方って、そんな感覚なのですね。

後日談・・・町長が千春マネージャーと会う機会があり、「手紙が届いていると思うけど、くれぐれもよろしく」とお声がけにいただいていたと後で知る。町長に感謝！

このメッセージビデオの存在を知るのは、私を含め3人だけ。企画委員長にも当日司会者にも知らせず極秘のミッションにて計画しサプライズ上映！

本番で多少のトラブルは有りましたが、概ね高評価を頂けたようで苦勞の甲斐がありました。



・最後に

今回の学会を通し強く感じた事。十勝地区の中堅、若手会員の優秀さ、行動力、斬新な発想、感服いたしました。この先20年、十勝地区会の運営は心配無用ですね。

技師会活動は、「辛い・苦しい・面倒」なものであってはなりません！

技師会活動は、「楽しい・やりがいのある」もので有って欲しいと切に願います！

今後とも、会員の力を結集し楽しく・風通しの良い会を運営していきましょう！